

南阿蘇村移住定住促進空き家活用住宅整備事業

自治体情報 熊本県南阿蘇村

人口 / 11,948人 標準財政規模 / 5,182百万円

担当課 企画観光課

電話番号 直通 0967-67-2230

実施主体 南阿蘇村

関連ホームページ <http://www.vill.katashina.gunma.jp/>

事業期間 平成 23 年度

関係施策分類 ①、⑥

予算関連データ

総事業費：17,262千円

名称	所管	金額(千円)
過疎地域等自立活性化推進交付金	総務省	5,250
一般財源	-	12,012

施策のポイント

地域に埋もれた空き家を改修し、活用することで、定住者による地域の活性化、地域景観の維持、防災・防犯上の問題解消等が図られる。特に、子どものいる家族を定住者として迎え入れることで、地域の賑わい(子どもの遊ぶ声など)が取り戻せる。

施策の概要

1. 取組に至る背景・目的

少子高齢化による過疎化は、顕著に表れており、村づくりや地域の活力となる若者の流出が、一向に留まることがなく、定住・移住対策は、村の大きな課題である。

しかし、熊本都市圏から約1時間以内という地理的条件や豊かな自然環境、更には、田舎暮らし希望者等の増加により、移住・定住の地として人気、ニーズは高まっている。そこで、空き家を資源とし、再生することで、安価な貸家として貸し出し、有効な財産として活用することで、村の活性化に繋げることが目的である。

2. 取組の具体的内容

空き家3件を各所有者から無償で借り上げ、必要な部分のみを改修した。具体的には、屋根、外壁、内壁、床、キッチン、トイレ、お風呂、浄化槽の設置等である。

また、空き家への入居者については、入居者選考委員会を設置し、当初の目標、目的が達成できる入居者を選考した。

3. 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

当初の目的である「地域の活性化」「地域景観の維持」「防災・防犯上の問題解消」に一定の効果があった。放置されていた空き家に人が住むことで、地域の景観、防災・防犯上の問題解消することはもとより、地域の清掃活動等の行事に積極的に参加することで、人手不足等の課題解決にも繋がっている。

4. 現在までの実績・成果

空き家3件に対し、20件の申込みがあり、選考委員会の結果、30代家族(子ども3人)、30代家族(子ども1人)、30代夫婦の3世帯が新たな住民となった。空き家住宅の適正な維持、地域の清掃活動等の行事への参加、所有者や地域住民との交流、また、入居者同士の交流も行っている。

5. 導入・実施にあたり工夫した点や苦労した点とその対処法・解決策など

県内に本事業を行った事案がなく、手探りの中、事業を進めることとなった。一番苦労した点としては、空き家を提供していただく所有者を見つけることであった。ちょうどその時、東日本大震災が発生し、1件の空き家の提供が不可能となり、代わりの空き家を探すのに時間を要した。

6. 今後の課題と展開

村内には、まだまだ放置された空き家はあり、また、移住定住希望者は後を絶たない状況にある。しかしながら、所有者から空き家の提供がない限り、本事業に取り組めないという課題がある